

ミニレター

あぜみち通信

令和6年11月1日

287号

編集・発行：（一社）愛知県農業会議

◎ 常設審議委員会（10月）の審議状況等について

10月11日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る市町村農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

10月の諮問は、13の農業委員会から農地法第5条に基づく転用事案16件、148,013㎡について審議したところ、いずれも原案どおり許可して差し支えない旨承認されました。

（参考） 諮問農業委員会

一宮市(2件)、春日井市(1件)、小牧市(2件)、清須市(1件)、大口町(1件)、弥富市(1件)、常滑市(1件)、安城市(1件)、知立市(2件)、豊田市(1件)、新城市(1件)、豊橋市(1件)、豊川市(1件)

◎ 農業者年金基金による考査指導がありました

10月7日に「江南市役所」、10月8日に「美浜町役場」及び「知多市役所」、10月10日に「蒲郡市役所」及び「新城市役所」において、各地域の農業委員会は独立行政法人農業者年金基金による考査指導を受けました。

①農業者年金の加入状況、②届出書等の事務処理の確認状況、③被保険者資格要件の確認・管理の状況、④年金の裁定請求等に関する指導の状況、⑤年金の受給要件の管理・確認の状況、⑥加入推進活動の状況、⑦業務委託手数料の収支状況、⑧個人情報保護等に関する管理の状況などについて、確認し、指導、助言をしていただきました。

◎ 「米だ！新米だ！あいち食育祭り2024」が開催されました

10月26～27日に名古屋市中区の金山総合駅南口広場での「金山にぎわいマルシェ」において、昨年に引き続き2回目となる「米だ！新米だ！あいち食育祭り2024」が開催されました。

これは本年7月に県産米の消費拡大に向け連携協定を締結した県稲作経営者会議（榎本浩規会長）とJAグループ愛知水田農業経営者協会（小久井孝幸会長）で組織する「あいちの米麦大豆消費拡大連盟」が主催となり、会場には、稲作経営者会議のほか、JAあいち経済連、東海農政局、愛知県のブースが設置



され、食育やお米に関するパネル展示、トラクターの展示、県内産新米の販売、升でお米をすくって重さを当てるゲームなどが行われました。

オープニングでは、『「農家を応援したくなる」食育動画コンテスト』の入賞者（ロング部門金賞：豊留麻美奈様、ショート部門金賞：MOVIRIDGE様）表彰式が行われ、「あいち食育祭り」の開催期間中、会場で受賞動画の放映も行われました。

「あいち食育祭り」では、愛知県母子寡婦福祉連合会（山本広枝理事長）が運営するフードドライブにも協力し、稲作経営者会議から新米 200 kgを提供し、同連合会からは同会議へ感謝状が贈呈されました。

この「あいち食育祭り」は、今後も継続して開催していく予定であるとのこと。



動画コンテスト受賞者と
左から 榎本会長、豊留様（代理）、
MOVIRIDGE様、小久井会長



左から 母子寡婦福祉
連合会 山本理事長と
榎本会長

◎ 女性の農業委員会会長・職務代理者研修会が開催されました

10月23日に、令和6年度女性の農業委員会会長・会長職務代理者研修会がオンライン方式により開催されました。

全国農業委員会女性協議会横田友会長の挨拶後、京都府京丹波町農業委員会専門幹で全国農業委員会職員協議会会長でもある永武幸子氏による「コミュニケーション力で築く委員と事務局の委員会活動」と題した基調講演に続き、全国農業委員会女性協議会横田会長、道下同副会長、笠原同副会長及び基調講演の講師永武氏をパネラーとしたパネルディスカッションが行われました。

オンライン開催ならではの難しさはあるものの活発に質疑応答、意見交換がされ、本県からも布目巳佐子 会長（名古屋市）、横井和美 職務代理（知多市）、太田良子 職務代理（安城市）、本県農業会議事務局職員が参加しました。

◎ 雇用就農資金の「指導者養成研修会」等を開催しました

10月28日に「桜華会館」において、「雇用就農資金」令和6年度第2回募集で採択された雇用就農者を対象に「事業説明・研修会」を、同30日には、経営体を対象に「指導者養成研修会」を、それぞれ開催しました。

また、農業会議では、11月15日までを期限として、雇用就農資金の第3回募集を行っています。雇用就農資金（雇用就農者育成・独立支援タイプ）は、農業法人などの経営体が、令和6年2月1日から10月1日までに雇用した社員等に農業就農に必要な研修を実施する場合に、一人当たり年間で最大60万円の資金を最長4年間交付するものです。

詳しくは、農業会議農政課までお問い合わせください。

◎ 愛知県農業経営士・農村生活アドバイザー・青年農業士認定会議が開催されました

10月4日に「愛知県三の丸庁舎」において、令和6年度の農業経営士、農村生活アドバイザー、青年農業士の認定会議が開催されました。

これまでの認定者数は、農業経営士は昭和46年以来2,426人、農村生活アドバイザーは平成7年以来958人、青年農業士は昭和51年以来2,550人となっており、それぞれの地域でリーダー的存在として活躍されています。

今年度の認定候補者は、農業経営士50人、農村生活アドバイザー16人、青年農業士19人でしたが、審議の結果、候補者全員が認定されることとなりました。

なお、令和6年11月21日に愛知県庁本庁舎において、認定式が開催される予定です。

今後の主な行事予定

- 11月5日 愛知県農業会議70周年記念大会（名古屋ガーデンパレス）
- 11月11日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 11月25日 常設審議委員会【農政】（県三の丸庁舎）及び現地調査
- 11月28日 全国農業委員会会長代表者集会（東京都・文京シビックホール）
- 12月10日 常設審議委員会（アイリス愛知）

農業者年金で安心・豊かな老後を～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。国民年金 + 農業者年金

◎こんな方が加入できます。

①国民年金第1号被保険者 ②年間60日以上農業に従事 ③20歳以上60歳未満の方

※さらに、年間60日以上農業に従事する60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者も加入できます。

◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。

（仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。）

◎保険料は、いつでも変更できます。月々2万円（35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円）から6万7千円まで

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の節税になります。

◎政策支援（保険料の国庫補助）が受けられます。

例：認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円（5割）補助

問い合わせ先 お住まいの市町村農業委員会・JAの農業者年金担当
一般社団法人 愛知県農業会議 TEL. 052-962-2841
愛知県農業協同組合中央会 TEL. 052-951-6944

農政の動きを知り経営に役立てる **全国農業新聞**

全国農業新聞は、農業委員会組織が編集・発行している情報紙です

○農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに ○地域の情報をカラーで生き生きと

○農業・農村現場や農業者の思いを伝承 ○経営・流通に役立つ最新情報が満載

○老若男女すべての方の元気を応援 ○文字が大きく読みやすい

発行日：毎月4回 毎週金曜日発行

購読料：月額700円、年8,400円（消費税込）

令和6年度刊行 オススメ全国農業図書

令和6年10月31日現在

コード	図 書 名	刊行日	価格	区分	判型	頁
R06-03	農業者年金制度と加入推進 2024年度版	4月25日	550	年度版	A4	75
R06-04	【リーフ・2頁】 農業者年金で老後生活を 安心サポート	5月31日	22	改訂	A4	2
R06-05	【リーフ・4頁】 2024年度版 農業者年金 6つの特徴とメリット	5月31日	44	年度版	A4	4
R06-06	【リーフ・8頁】 2024年度版 農業者年金 年金の仕組みとメリット	5月31日	88	年度版	A4	8
R06-07	【リーフ・2頁】 義務化されました！ 相続登記の申請 (農業者向け)	4月22日	33	改訂	A4	2
R06-08	【リーフ・8頁】 義務化されました！ 相続登記の申請 ～お知らせしたい6つのこと～ (農業関係機関・団体向け)	4月22日	121	改訂	A4	8
R06-09	【全国農業図書ブックレット25】 こうやった！ 目標地区の座談会 ～試行錯誤の実践記録～	5月8日	990	新刊	A5	108
R06-10	2024年度 農業委員会業務必携 ～付 農委活動24事例～	5月29日	1,490	年度版	A4	151
R06-11	【リーフ・8頁】 進めよう！ 地域計画	5月29日	110	改訂	A4	8
R06-12	農業法人の会計・税務ハンドブック 改訂第2版	8月28日	3,960	改訂版	A4	358
R06-13	【リーフ・8頁】 農家のための農業者年金	6月20日	110	年度版	A4	8
R06-14	農業者年金加入推進セット 改訂	7月17日	990	改訂	A4	3種類 セット
R06-16	農地転用許可制度のあらまし	7月31日	286	新刊	A5	24
R06-17	令和6年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制	7月31日	1,320	年度版	A5	200
R06-18	【全国農業図書ブックレット26】 地域の未来を描く座談会 理論編 ～全員が発言する座談会が未来の地域をつくる～	8月1日	990	改訂	A5	104
R06-19	【リーフ】 新たな食料・農業・農村基本法と 関連3法のポイント	7月31日	220	新刊	A4	16
R06-20	2024年度版 農家相談の手引	8月7日	850	年度版	A4	136
R06-21	農地中間管理事業法の解説	9月25日	2,640	新刊	A5	350
R06-22	令和6年度版 よくわかる農家の青色申告	8月6日	990	年度版	A4	132
R06-23	農業振興地域制度のあらまし	8月29日	286	新刊	A5	24
R06-27	2024年版 勘定科目別農業簿記マニュアル ～青色申告から経営改善につなぐ～	9月30日	2,420	年版	A4	236

お問い合わせ先 一般社団法人愛知県農業会議
TEL 052-962-2841 FAX 052-963-0399